

燕三条ブランドの確立・推進に向けた取組

まちあるき

「燕三条ものづくりの心に出会うまちあるき」として、始めたこの取組も、5年目に突入し、今年の春は、4月12日～6月28日までの開催期間で、20コースに348人の方からご参加いただきました。それぞれの地域資源を愛するナビゲーターが案内するこの「まちあるき」は、地域の魅力をしっかりと参加者の皆様に伝えることのできるコミュニケーション手段となっています。



燕三条畑の朝カフェ

燕三条畑の朝カフェは、朝の農園の凜とした空気、生産農家の収穫にける思い、体験、そして主には地域で製作されたテーブルセットなどを通じて、「燕三条」を体験体感していただく取組です。

なかなか開催回数を増やすことはできませんが、精一杯のおもてなしの心で皆様をお待ちしています。



ブランキングアート展

「ブランキングアート」初めて目にされる方も多いと思いますが、それもそのはず、板材から製品を打ち抜く「ブランキング」と芸術の「アート」を組み合わせた造語です。

商品や部品生産などの製造工程で排出される事業排出物（ blanks 材）を用い、創意工夫と技術によって再び生まれ変わらせることで、燕三条に代々息づく「モノづくりの心と技」を表現しようとするものです。平成26年9月20日から作品展を行いますので、おたのしみに。



リサーチコアでは、企業支援のために様々なご相談を承っています。少しでも困ったことや知りたいことがありましたら、まずはお気軽にご相談ください。



企業紹介
に関するご相談

新商品企画
デザイン
に関するご相談

技術
に関するご相談

特許
に関するご相談

IT活用
に関するご相談

支援制度
に関するご相談

専門家
(技術・特許・IT・経営)
を派遣します。

TEL.0256-35-7811 FAX.0256-32-0447
www.tsjiba.or.jp

リサーチコアレポート vol.5

Researchcore Report

リサーチコアの出来事、情報を皆様にお届け——。



一般財団法人
燕三条地場産業振興センター



Impact!
燕三条!

燕三条ものづくりメッセ
Tsubamesanjo
Manufacturing Messe
2014

Top Report

203社が参加!!
日本海側最大級の
ものづくり系展示会
燕三条でついに開催!!

2nd Report

○海外デザイン賞の紹介

3rd Report

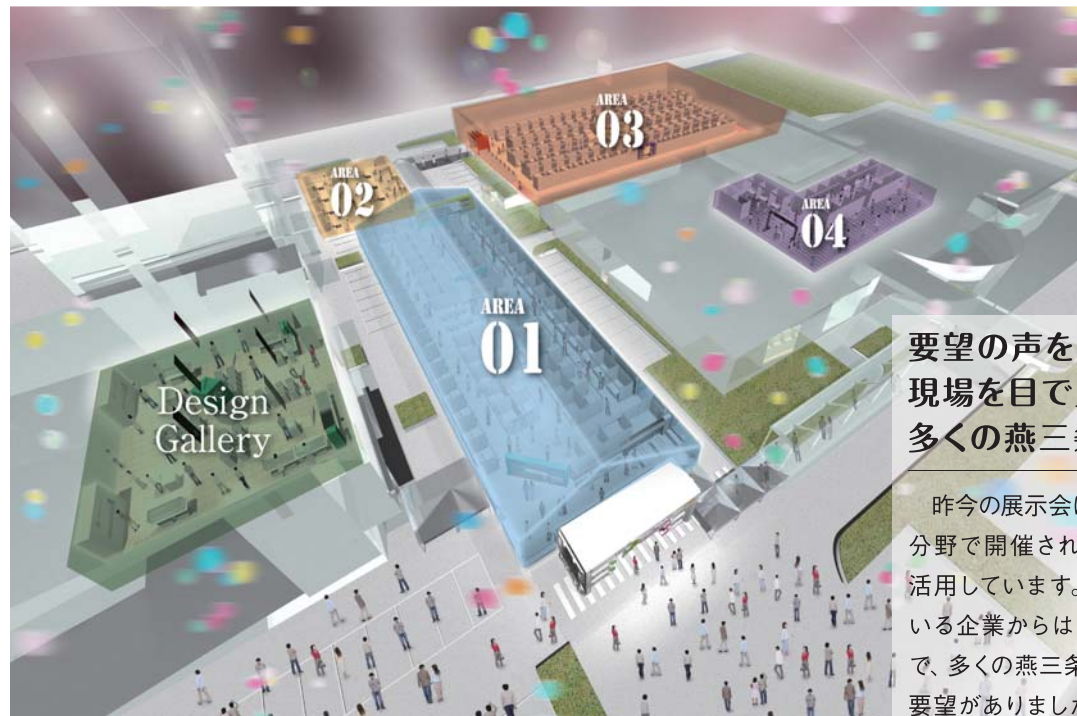
○機械要素技術展 報告 ○試作市場 報告
○ガレーシングEXPO 報告

Others

○燕三条ブランドの確立・推進に向けた取組



日本海側最大級のものづくり系展示会で、 燕三条地域の高い技術力をアピールし、 しっかりと商談へとつなげる！



地域“発”が、
世界を変える。

要望の声を実現。
現場を目で見ることができる距離で。
多くの燕三条地域の企業と。

昨今の展示会は首都圏などの大都市で、また特定の分野で開催されており、当地域の企業も積極的に活用しています。しかし当地域との取引を期待している企業からは、現場を目で見ることができる距離で、多くの燕三条地域の企業と商談できる展示会の要望がありました。

本展示会では107社以上の様々な分野の燕三条のものづくり系企業が、一堂に会す初めての展示会です。MEX金沢2014の188社、新潟国際ビジネスメッセ2013の103社を越え、日本海側最大級の出展規模となりました。

この展示会で多くの新しいビジネスが生まれることを期待しています。

最新の情報はWebサイトでご確認ください。

<http://tsm2014.tsjiba.or.jp/>

燕三条ものづくりメッセ 2014 Tsubamesanjo Manufacturing Messe

10.1 日 10:00 ~ 17:30 2 日 10:00 ~ 16:00

会場／燕三条地場産業振興センター(新潟県三条市須頃1-17)
メッセピア、リサーチコア、特設テントエリア 他

入場
無料

世界に発信する、海外のデザイン賞。

海外デザイン賞取得への取り組みを支援

日本の「グッドデザイン賞」のように、海外にもデザイン選定制度があります。中でもドイツの「iFDESIGNAWARD」(1953～)、「reddotdesignaward」(1955～)は世界的に有名で、多くの国からのエントリーがあり、いずれの制度も受賞した商品は優れたデザインであることはもちろんのこと、商品の貴重なマーケティングツール、セールスポイント

となり、海外マーケットへの進出を考える商品にとって価値が高いデザイン賞と言えます。

当センターではこの二つの海外デザイン賞取得への取り組みを支援する為、賞の概略、取得までの流れなど説明会の開催、また具体的な応募に対するサポートなどの支援を行います。

(11月以降に実施予定)

- iF DESIGN AWARD
URL http://www.ifdesign.de/language_japanese_e
- red dot design award
URL <http://en.red-dot.org/>



山崎金属工業(株)
左:「EDA」red dot design award 2013「best of the best」受賞
右:「STILE」red dot design award 2013 受賞

3見本市に出展。燕三条の技術力をアピール。



第18回 機械要素技術展

総称 日本ものづくりワールド

第18回 機械要素技術展 M-Tech

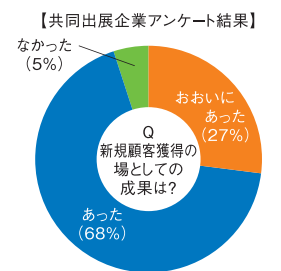
○共同出展企業:

相場産業(株)、(有)浅野木工所、伊藤金属(株)、(有)イワセ、(株)カエリヤマ、(株)古寺製作所、後藤鋳業(株)、小林鉄工(株)、セキサーマル(株)、(株)セキヤ、(株)高秋化学、(株)タケコシ、(株)タケダ、(株)武田金型製作所、(株)テーエム、(有)富田工業所、富所パフ、中村精工(株)、(株)野崎プレス、ハガセイコー(株)、(有)長谷川挽物製作所、(有)フナックス、松平製作所、(株)若井製作所【50音順・敬称略】

会期:平成26年6月25日(水)～27日(金)
会場:東京ビッグサイト
出展社数:2,102社 来場者数:80,606名

東京と大阪で開催される機械要素技術展(M-Tech)は、軸受、ベアリング、ねじ、ばねなどの機械要素や、金属、樹脂に関する加工技術を一堂に集めた専門技術展です。毎年、設計・開発、製造・生産技術部門を中心とした製造業ユーザーが多数来場し、出展企業と商談が行われています。

精巧な「匠の技のブランドイメージ」を表現した展示ブースを設け、新規顧客の開拓を目指し、プレスや鍛造、機械加工など、様々な加工分野の24社と共同出展しました。各社は得意とする技術を駆使した加工サンプルなどを陳列し、積極的に来場者へアピールしていました。その場での商談成立は難しいのですが、新規顧客開拓と今後の商談への発展の可能性を感じられた企業が多くあり、これからの成果が期待されます。



第17回 関西機械要素技術展

総称 関西ものづくりワールド

第17回 関西機械要素技術展 M-Tech

○共同出展企業:

アイチ テクノメタル フカウミ(株)、(株)阿部工業、伊藤金属(株)、(株)カクラ、シンワ測定(株)、土田工業(株)、新潟精密鋳造(株)、(株)ハシモト、(有)ミネ【50音順・敬称略】

会期:平成26年9月24日(水)～26日(金) 会場:インテックス大阪
出展予定:980社 来場見込:43,000名

インテックス大阪で開催される関西機械要素技術展にも9社と共同出展します。当センターが出展する技術系展示会への共同出展を希望される場合は、企業支援課(TEL.0256-35-5395)にお問い合わせください。

試作市場2014 in 東京

会期:平成26年5月29日(木)～30日(金)

会場:大田区産業プラザPiO

○会員企業:

(株)青海製作所、イメージ工房、コーダ工業(株)、(有)小林製作所、(有)小林鉄工所、(株)古寺製作所、後藤鋳業(株)、三基物産(株)、(株)創明工芸、(有)富田工業所、新井田鉄工所、(株)ハシモト、(株)ヤチダ



5月28日、29日に大田区産業プラザPiO(東京都)で「試作市場2014」が開催されました。本展示会には、当センター事業の「試作・小ロット品対応力強化プロジェクト」の会員企業13社が出展しました。毎月の例会やその後の交流会で連携を深めているため、展示会では自社だけでなく他社の展示品も積極的に説明し、試作品に対する連携した取り組みをPRしたので、今後の展開が見込める案件も多数ありました。

本プロジェクトは試作品・小ロット品へ積極的に取り組む仕組み作りと連携力の強化を目的に展開しています。上記プロジェクトに興味がある方はお気軽にお問い合わせください。



朝日 住まいづくりフェア2014「ガレージングエキスポ」

会期:平成26年5月30日(金)～6月1日(日)

会場:東京ビッグサイト西1・2ホール

「朝日住まいづくりフェア2014」は日本最大級の新築・リフォームの住宅関連展示会です。

当センターは「生活デザイン産業創出事業」で開発された「ガレージで趣味空間を楽しむ為の商品群」の発表、販路開拓の為、本展示会に併設された「ガレージングEXPO」に参加企業と共同出展しました。会期中は各エキスポを合わせて5万人以上の来場者があり、当センターブースは会場内でも一際目立ち、注目の集まる空間となりました。初出展の展示会ながら、多くの問い合わせ、また成約もありました。

今後も新規性の高い商品開発を行う為の事業、その販路開拓支援を続けていきます。